発信人	日本国特許庁	(国際調査機関
-----	--------	---------

発悟人 日本国代計/1 (国际嗣重收购/	_	AMM ARRE	
出願人代理人	\P	REC'D 2 1 APR 2005	
千住金属工業株式会社	7	WIPO PO	OT
様	-		
あて名		PCT	
〒 120-8555	国	際調査機関の見解書 	-
東京都足立区千住橋戸町23番地	` ([PCT規則43の2.1]	
	74:40	1 - 1 - 0005	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	│ 発送日 │(日.月.年)	19, 4, 2005	
	A※の王続きについ	いては、下記2を参照する	こと。
出願人又は代理人 の書類記号 P-2004PCT-12	今後の子脈さにう	Clar, I have a service	
国際出願番号 国際出願日 PCT/JP2004/019498 (日.月.年) 27.12.	1.7	日.月.年) 07.01.2004	
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' B.23K1/008	· ·		
出願人(氏名又は名称)	•	·	
千住金属工業株式会社			
1. この見解書は次の内容を含む。			
1. この見解されるの内容を占む。		•	
第11 概 優先権		o Tilert	1
第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可	「能性についての見解の	ウイヤF成	· · ·
第IV欄 発明の単一性の欠如 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定す	る新規件、進歩性又は	産業上の利用可能性につい	いての見解、
X 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(1)に規定する]		
第VI概 ある種の引用文献			
第VII欄 国際出願の不備		·	
第四個 国際出願に対する意見			
2. 今後の手続き			から、その国
2. 今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際 際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づい	調査機関とは異なる国	国際予備審査機関を選択し 双車を国際予備審査機関の	、かつ、ての国
際予備審査機関がPCT規則66.102(b)の規定に基づいない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この	見解告は国際予備審査	を機関の最初の見解害とみ	なされる。
この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書と ち3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了	みなされる場合、 ^{像と} -る期限が経過するまで	でに、出願人は国際予備審	査機関に、適当
な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができ	る。		
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照			
			·
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考さ	と参照すること。 		
見解むを作成した日			
01. 04. 2005		四のよ 7000周)	3P 3117
名称及びあて先	特許庁審査官(権 小野田	限のある概点) 達志	
日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915			§ 3364
東京都千代田区霞が関三丁目 4番 3号	電話番号 03-	3581-1101 内部	

関解の基礎			and the second of the second o				
この見解書は、下	「記に示す場合を	≿除くほか、国際出願					
この見解書は		語による翻訳	文を基礎として作	成した。	የ አ		
それは国際調	査のために提出	された P C T 規則12.	3及び23.1(6)にい	り側訳人の音品へ	. 00.00		
				・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(確別に関し	τ.	
この国際出願で 以下に基づき見解	開示されかつ請₹ 曜郡を作成した。	水の範囲に係る発明に	二个可欠なメジレス	7 () () ()		•	
•		•			•		
・・タイプ	[配列表	1				, .	
	配列表	とに関連するテーブル					
		•			•		
). フォーマット	→ □ 書面						
•	口 .コンヒ	ュータ読み取り可能	な形式				
		•			•	•	
c. 提出時期	. □ 出願	寺の国際出願に含まれ	、				
•	□ : σ	国際出願と共にコンヒ	プュータ読み取り可	能な形式により扱	是出された		
					•		
	出願後	後に、調査のために、	この国际調査機関	ICTEM CANC			
	3列表又は配列表 願時に提出した	とに関連するテーブル ・配列と同一である旨	を提出した場合に、 、又は、出願時の	出願後に提出し 開示を超える事項	た配列若し [を含まない	くは追加し 旨の陳述も	して提出 書の提出
た配列が出	3列表又は配列表 1願時に提出した	に関連するテーブル 配列と同一である旨	を提出した場合に、 、又は、出願時の!	出願後に提出し 開示を超える事項	た配列若し を含まない	くは追加り 旨の陳述も	して提出 書の提出
た配列が出あった。	3列表又は配列表 3願時に提出した	に関連するテーブル 配列と同一である旨	を提出した場合に、 、又は、出願時の「	出願後に提出し 期示を超える事項	た配列若し。 (を含まない	くは追加り	して提出 書の提出
た配列が出あった。	3列表又は配列表 3願時に提出した	に関連するテーブル 配列と同一である旨	を提出した場合に、 、又は、出願時の「	出願後に提出し 開示を超える事項	た配列若し を含まない ・	くは追加り	して提出 事の提出
た配列が出あった。	2列表又は配列表 3願時に提出した	に関連するテーブル 配列と同一である旨	を提出した場合に、 、又は、出願時の	出願後に提出し 開示を超える事項	た配列若しを含まない	くは追加り	して提出 野の提出
た配列が出あった。	2列表又は配列表 3願時に提出した	に関連するテーブル 配列と同一である旨	を提出した場合に、 、又は、出願時の「	出願後に提出し 開示を超える事項	た配列若し	くは追加り	して提出
た配列が出あった。	2列表又は配列表 1願時に提出した	に関連するテーブル 配列と同一である旨	を提出した場合に、 、又は、出願時の	出願後に提出し 期示を超える事項	た配列若し を含まない	くは追加 育の陳述 を	して提出
た配列が出あった。	2列表又は配列表 3願時に提出した	に関連するテーブル 配列と同一である旨	を提出した場合に、 、又は、出願時の「	出願後に提出し 開示を超える事項	た配列若し を含まない	くは追加い	して提出
た配列が出あった。	2列表又は配列表 3願時に提出した	に関連するテーブル 配列と同一である旨	を提出した場合に、 、又は、出願時の「	出願後に提出し 開示を超える事項	た配列若し を含まない	くは追加い	して提出出
た配列が出あった。	出願時に提出した	配列と同一である目	、又は、田願時の「	出願後に提出し 期示を超える事項	た配列若し を含まない	くは追加い	して提出出
た配列が出あった。	出願時に提出した	に関連するテーブル 配列と同一である旨	、又は、田願時の「	出願後に提出し 開示を超える事項	た配列若し を含まない	くは追加い	して提出出
た配列が出あった。	出願時に提出した	配列と同一である目	、又は、田願時の「	ガルで 心へ のずい		くは追加い	して提出出
一 た配列が出 あった。 補足意見:	出願時に提出した	配列と同一である目	、又は、田願時の「	ガルで 心へ のずい		,	しちの提出出
一 た配列が出 あった。 補足意見:	出願時に提出した	配列と同一である目	、又は、田願時の「	ガルで 心へ のずい		,	しての提出出
一 た配列が出 あった。 補足意見:	出願時に提出した	配列と同一である目	、又は、田願時の「	ガルで 心へ のずい		,	しちの提出出
一 た配列が出 あった。 補足意見:	出願時に提出した	配列と同一である目	、又は、四願時の「	ガルを応じる。			
一 た配列が出 あった。 補足意見:	出願時に提出した	配列と同一である目	、又は、田願時の「	ガル を 位 へ の ザック			
一 た配列が出 あった。 補足意見:	出願時に提出した	配列と同一である目	、又は、四願時の「	ガル を 位 へ の ザック			
一 た配列が出 あった。 補足意見:	出願時に提出した	配列と同一である目	、又は、四願時の「	ガル を 位 へ の ザック			

•		·			
国際調査機関の	見解書	国際出願番号	PCT/JP	2004/	019498
V棚 新規性、進歩性又は産業上 それを裏付る文献及び説明	の利用可能性についてのP	CT規則43の2.1(a)(i) に定める見像 	₽ 	
見解			-		
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	. 1			有 無
進歩性(IS)	請求の範囲	1	·		有 無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲 	1		•	有 無
		·			
2. 文献及び説明 諸求の範囲1に係る	3発明は、国際調査	報告に引用され	たいずれの	文献に	も記載さ
・ 文献及び説明 請求の範囲1に係る れておらず、当業者に	る発明は、国際調査 ことって自明なもの	報告に引用され でもない。	たいずれの)文献に	も記載さ
請求の範囲1に係る	る発明は、国際調査 ことって自明なもの	報告に引用され でもない。	たいずれの	文献に	も記載さ
請求の範囲1に係る	る発明は、国際調査 ことって自明なもの	報告に引用され でもない。	たいずれの)文献に	も記載さ
請求の範囲1に係る	る発明は、国際調査 ことって自明なもの	報告に引用され でもない。	たいずれの	文献に	も記載さ
請求の範囲1に係る	る発明は、国際調査 ことって自明なもの	報告に引用され でもない。	たいずれの	文献に	も記載さ
請求の範囲1に係る	る発明は、国際調査 ことって自明なもの	報告に引用され でもない。	たいずれの	文献に	も記載さ
請求の範囲1に係る	る発明は、国際調査 ことって自明なもの	報告に引用され でもない。	たいずれの	文献 に	も記載さ
請求の範囲1に係る	る発明は、国際調査 ことって自明なもの	報告に引用され でもない。	たいずれの	文献に	も記載さ
請求の範囲1に係る	る発明は、国際調査 ことって自明なもの	報告に引用され でもない。	たいずれの	文献に	も記載さ
請求の範囲1に係る	る発明は、国際調査 ことって自明なもの	報告に引用され でもない。	たいずれの	文献に	も記載さ